

2025年度大学入学共通テスト 出題教科・科目 公表

河合塾

2021/3/26

このほど、大学入試センターより 2025 年度共通テストの出題教科・科目が公表された。新しい学習指導要領に対応して「情報」が新設されるほか、「地理歴史」「公民」「数学」などを見直し、7教科 21 科目へとスリム化される。以下、具体的な内容についてみていく。

■「情報」新設、出題教科・科目は7教科 21 科目へ再編

新学習指導要領は、2022 年度高校入学者（新中 3 生）より実施され、当該学年が大学入試を迎える 2025 年に実施される大学入学共通テスト（以下、共通テスト）からは新しい学習指導要領に対応したものへと刷新される。大学入試センターでは、この新しい共通テストについて、今後の受験人口の減少等を踏まえ「質の高い試験問題を継続的・安定的に出題できるよう現行の科目数や組み合わせ等について必要なスリム化を行うこと」「受験者への過度な負担回避のため現行の共通テストから大きな変更を避けること」などの観点から検討を行ってきた。

2025 年度共通テストでは、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」の 7 教科 21 科目が出題される

【表 1】。「国語」「外国語」は現行の枠組みから変更はなく、「地理歴史」「公民」「数学」は新学習指導要領を踏まえ出題科目が見直される。「理科」は現行の基礎科目をひとつにまとめ、「物理」「化学」などの基礎を付さない科目との 5 科目となる。新設教科の「情報」は、新学習指導要領の必修科目である情報 I（コンピュータの仕組み、プログラミング等）の内容を出題範囲とし、単独の試験時間帯となる予定だ。

なお、本内容は、関係団体等からの意見を踏まえ、大学入試センターとしての一定の結論を得たとして公表されたものである。今後、文部科学省において高校および大学関係者等の協議を経たうえで、夏ごろには正式決定される。また、各出題教科・科目の試験時間や配点、時間割等は公表されておらず、現行の共通テストとの継続性を勘案しつつ、試験実施上の負担も考慮して定めるとしている。

【表 1】 2025 年度共通テスト出題教科・科目

教科	出題科目
国語	「国語」
地理歴史	「地理総合, 地理探究」
	「歴史総合, 日本史探究」
	「歴史総合, 世界史探究」
公民	「地理総合, 歴史総合, 公共」* *いずれか 2 科目の内容を選択解答
	「公共, 倫理」
	「公共, 政治・経済」
数学	① 「数学 I」 「数学 I, 数学 A」
	② 「数学 II, 数学 B, 数学 C」* *数学 B・数学 C については、各 2 項目出題のうち 3 項目を選択解答
理科	「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎」* *いずれか 2 科目の内容を選択解答
	「物理」
	「化学」
	「生物」
	「地学」
外国語	「英語」
	「ドイツ語」
	「フランス語」
	「中国語」 「韓国語」
情報	「情報」

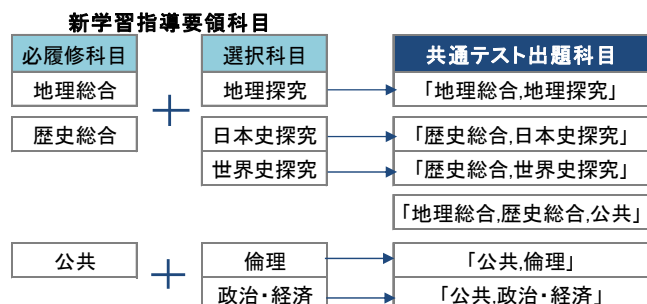
■「地理歴史」「公民」－ 6 科目に大きく再編

「地理歴史」「公民」は新学習指導要領での大幅改訂にともない、共通テストでも大きく再編される。まず、新学習指導要領ではどう変わるのか確認していく。地理歴史は 5 科目（うち必修 2 科目）、公民は 3 科目（うち必修 1 科目）へと改訂する【表 2】。必修科目の地理総合は『持続可能な社会づくりを目指し、現代の地理的な諸課題を考察する科目』として、歴史総合は『世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて近現代史を考察する科目』として位置づけられており、これら 2 科目を履修したうえで、必要に応じて探究科目（地理探究、日本史探究、世界史探究）を学習する。

2025 年度共通テストでは、新学習指導要領に対応し、必修科目と選択科目を組み合わせた「地理総合, 地理探究」「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」を学習する。

2025 年度共通テストでは、新学習指導要領に対応し、必修科目と選択科目を組み合わせた「地理総合, 地理探究」「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」を学習する。

【表 2】 地理歴史・公民の新学習指導要領科目



総合, 世界史探究」「公共, 倫理」「公共, 政治・経済」の5科目のほか、地理歴史、公民それぞれの必修科目を組み合わせた「地理総合, 歴史総合, 公共」の計6科目が設定される。「地理総合, 歴史総合, 公共」では、必修3科目の出題範囲の中からいずれか2科目の内容の問題を選択解答する。

受験生は、現行通り「地理歴史」「公民」から最大2科目選択が可能となる。ただし、公民2科目の組み合わせは選択できないほか、「地理総合, 歴史総合, 公共」で選択解答した科目と同一名称を含む科目の選択はできないとしている（例：「地理総合, 歴史総合, 公共」で地理総合と公共を選択解答した場合、「地理総合, 地理探究」「公共, 倫理」「公共, 政治・経済」は選択不可）。

■「数学」－数学Cの新設にともなう変更

「数学」では、新学習指導要領で数学Cが設置されたことにともない、共通テストの出題科目も変更となる。数学グループ①の「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」は現行から変更はない。グループ②では「数学Ⅱ・数学B・数学C」1科目の設置となる。現行の「数学Ⅱ」や、専門学科に関する科目である「簿記・会計」「情報関係基礎」は廃止される。数学Cは、現行の数学Bから「ベクトル」、数学Ⅲから「平面上の曲線と複素数平面」が移行されたもので、共通テスト「数学Ⅱ・数学B・数学C」の出題範囲は、数学B・数学Cについてはそれぞれ2項目（数学B：「数列」「統計的な推測」、数学C：「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」）に対応した出題とし、このうち3項目の内容を選択解答させるとしている。

■「理科」－基礎科目は「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎」にまとまる

「理科」の出題科目は、基礎科目が1科目にまとめられ、基礎を付さない科目とあわせて5科目となる。「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎」では、1科目にまとめられたものの、各基礎科目の出題範囲のうちいずれか2科目の内容の問題を選択解答させるとしており、現行から実質変わりはない。また、出題科目の選択方法についても、現行通りの4パターンとなる【表3】。ただし、試験は理科でひとつの試験時間帯とされているため、現行の時間割から変更になる可能性が高い。今後の公表が注目される。

【表3】理科の選択方法

- A：「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎」から2科目の内容の問題を選択
- B：「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目を選択
- C：「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎」から2科目の内容の問題を選択、
並びに「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目を選択
- D：「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目を選択

■CBT化は見送り、記述式問題導入や英語4技能評価は引き続き検討

これまで共通テストのCBT形式（コンピューター等での実施形式）での実施が検討されてきたが、2025年度共通テストでは従来通りの紙媒体での実施となった。大学入試センターによると、CBTで行うメリットは大きいものの、受験環境の確保やトラブルが生じた場合の対応体制の構築、新しい試験のあり方に対する社会全体の理解などについては細やかな検討が必要とし、2025年度の導入は見送られた。また、入学者選抜改革の柱であった共通テストの記述式問題の導入や英語4技能評価については、現在文部科学省の「大学入試のあり方に関する検討会議」において議論されている最中であることを踏まえ、検討会議での結果を受けて必要な対応を行うとの表現にとどまっている。

■今後のスケジュール

冒頭にも述べたように、今後は文部科学省が関係各所との協議を経た上で、今夏には最終決定する見込みである。各大学は、文部科学省からの通知を受けて2025年度入試の入試科目を定めることとなる。学習指導要領が大きく改訂されるため、共通テストのみならず個別試験の出題教科・科目も注目される。例年、各大学の入試科目の変更等は2年前に公表するルールになっており、遅くとも2023年3月頃までには公表される。ただし、大学入試センターは、各大学に対し、高校生が安心して進路を決定できるよう共通テストの教科・科目の利用方法や個別試験の情報提供について、例年以上に前倒しして行うよう協力を求めるとしており、早期公表が待たれる。河合塾においても、各大学の動向を注視するとともに、引き続き情報をお伝えしていきたい。